

# 福島に学ぶプロジェクト 報告書

タイトル	放射線の性質と利用 -福島の現在と未来について考える-		
学校名	相馬市立中村第一中学校	教員名	佐藤拓也
学年	2年生	教科	理科
使用した教材、教科書等	教科書(第1章静電気と電流 第3節放射線の性質と利用)、放射線副読本、処理水ポータルサイト(TEPCO)、「トリチウム」について(TEPCO)		
キーワード	汚染水、処理水、自然放射線、福島復興、風評		

## 1. 目的

福島第一原子力発電所の処理水の海洋放出にともない、福島県が世界中から注目されている。生徒の中には、海外での福島県産品の輸入禁止の報道を見聞きしたことで、福島県産品に対して不安を抱いている者もいる。生徒に福島の現状を正しく知ってもらい、福島県産品に対する不安を払拭したいと考え、授業を立案した。

## 2. 内容

### ・事前アンケート(2/2~2/5)

放射線の基礎知識や放射線について説明できるか、放射線についての意識を調査した。

### ・放射線講座①(2/6)

事前アンケートの結果をもとに、理科担当教師から、放射線、放射性物質、放射能の違い、汚染水と処理水の違い、トリチウムの性質についての説明を聞いた。

### ・放射線講座②(2/7)

相馬魚類株式会社の加藤修一郎さん(お魚マイスター)を講師に招き、講演会を行った。福島第一原子力発電所の現状、処理水の放出に対する漁業関係者の思いについても話していただいた。

### ・事後アンケート(2/7)

事前アンケートの内容に加え、授業の感想、授業を通して学んだこと、相馬・福島から全国に発信したいことを調査した。

## 3. まとめ

アンケート調査から

- 放射線、放射性物質、放射能の違いについて説明できるようになった。
- 汚染水と処理水の違いを説明できるようになった。
- トリチウムの性質について説明できるようになった。
- 東日本大震災からの復興の歩みについて説明できるようになった。
- 福島(相馬)の魚に対して誇りを持つことができた。

生徒の感想

- 相馬の魚(福島の魚)がうまいということを他の都道府県の人にも知ってもらいたい。
- ネットなどで間違った情報などを言っている人たちを見かけるので、他人事と思わず放射線のことや震災の復興について知ってほしい。
- 処理水は、人体などに影響はないように除染されているから、心配しないで福島の美味しい魚を食べてほしい。
- 「東日本大震災で原発が爆発して福島県は危険」と言うのではなく、実際に海産物を食べたり、現地に行ってみたりすることで福島県への関心や意識が高まると思う。